

1. 現行の基本理念と目指す人間像、3本の柱について

基本理念

学ぶ楽しさで、  
人と人をつなぐ

3本の柱

I 次代を担う子どもをみんなで大切に育てる

「知・徳・体」のバランスのとれた子どもを、一人一人の個性を大切にしながら、家庭・地域・学校のみんなで大切に育てます。また、子育て世帯もしっかりと応援していきます。

II 生涯にわたって学び続ける市民を応援する

義務教育を終えた後も、生涯にわたって学び続ける市民を応援します。スポーツから文化・芸術に関することまで、市民の生涯学習を幅広く支援し、人と人のつながりを生みだします。

III 「ふるさとみよし」を創る市民を育てる

みよしの良さを知り、未来のみよしを創る市民を育てるために、子どもの頃からみよしの良さを体験的に学べるようにしたり、学びを通じて人と人が出会うような場づくりをしたりします。

目指す人間像

生涯にわたって自らを磨き続け、  
仲間と共に「ふるさとみよし」を築き、  
より良い次代を創り出す人

## 2 次期みよし市教育振興基本計画の基本的な考え方について

令和2年から5年までの間、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、人と人との交流や多くの地域行事が中止に追い込まれました。その結果、近所付き合いや地域で子どもを見守る機会が激減し、近所のこどもの名前も知らないような実情がみられるようになりました。人とのつながりが希薄化し、悩みを一人で抱え、孤立している市民もいることが危惧されます。また、コロナ前と比べて、図書ボランティアの人数や生涯学習団体が減少するなど、人と人が交流し、助け合う関係が揺らいでいる現状があります。

また、子どもたちも、仲間とかかわり、共に成長する機会が失われたことで、**仲間を思いやることの大切さや折り合いをつける力、遊びの中で養われるべき社会性等を身に付けることなく成長している**と考えられるため、学校現場での人間関係における様々な問題として表出しています。

今回実施した「みよし市の教育に関するアンケート」から見えてきた市民・保護者・教員が共通して描く理想像は、思いやりと優しさをもち、安心できる人間関係を築くことで、一人一人が笑顔で生き生きと過ごすことができる姿であり、そのためには、小中学校の教育活動をはじめ、スポーツや文化活動など、**あらゆる機会を捉えて、みんなで一体感を感じる**ことのできる「人と人とのつながり」を生み出す必要があります。

また、将来の予測が困難な時代に、未来に向けて自らが社会の創り手となり、持続可能な社会を維持・発展させていく人材を育てることが求められています。今後は、日本の人口も減り、外国にルーツのある人と協働し、多様な考えを尊重していくとともに言葉の問題や文化の違いから日常生活や学校生活に苦勞している方もいるため、個別に支援をしていく必要があります。

そんななかでも、人それぞれが自己肯定感を高め、幸せや生きがいを感じるとともに、地域や社会も幸せや豊かさを感じられるものとなるよう、教育を通じて心の豊かさをあらゆるウェルビーイングを向上させていくことは大きなテーマとなります。

これらのことから、これからのみよしの教育に最も必要とされているのは、学校だけでなく、家庭地域が手を携え、人と人がつながり、高め合うことで、それぞれが心豊かに成長し、生きがいのある暮らしや社会を実現していくことであると見え、次のような理念を計画の中心に据えました。

### 基本理念(案)

きょういく  
「**協育**」でつながり

ともいく  
「**共育**」で心豊かに

この基本理念のもと、各世代に適した段階的な教育を推進していくことが大切になってきます。そこで、学齢期の学校教育、青年期以降の社会教育、あらゆる世代に必要な家庭・地域教育にて目指すべき人間像を次のように定め、その人間像を目指すにあたっての具体的な取組目標を設定しました。

## 1. 基本理念

計画全体の中心となる考え方として設定します。

以下のA案・B案から  
1つを選ぶ方向で  
検討をお願いします。

(A案)「協育」でつながり、「共育」で心豊かに

(B案)自ら学び、つながり合うことで、生きがいを感じる人が育つ

以下の3つを設定する  
ことについて、  
検討をお願いします。

## 2. 目指す人間像

基本理念を踏まえ、教育を通じて育てようとする人物の理想像を設定します。

- ・自ら学び、仲間と協働し、たくましく生き抜くことができる人
- ・社会や地域とつながり、将来にわたっていきがいをもつことができる人
- ・ふるさとの魅力を知り、愛着を持ち、伝統を未来につなぐ人

## 3. 基本目標

基本理念、目指す人間像を実現するため、計画の基本目標を設定します。

基本目標は、施策体系の柱になり、その下に基本施策を位置付けます。

柱という表現から、以  
下の3つを基本目標と  
して設定することにつ  
いて、  
検討をお願いします。

- 1 次代を担う子どもを地域ぐるみで育てる（「共育」「協育」）
- 2 いつでも、どこでも、だれでも学べる環境を整える
- 3 「ふるさとみよし」への愛着と誇りを高める

## 【基本理念】

- (A案) 「<sup>きょういく</sup>協育」でつながり、「<sup>ともいく</sup>共育」で心豊かに  
 (B案) 自ら学び、つながり合うことで、生きがいを感じる人が育つ

## 【目指す人間像】

- ・ 自ら学び、仲間と協働し、たくましく生き抜くことができる人
- ・ 社会や地域とつながり、将来にわたっていきがいを持つことができる人
- ・ ふるさとの魅力を知り、愛着を持ち、伝統を未来につなぐ人



## 【実現するための基本目標】

高齢期	基本目標2 (大人の育ち) いつでも、どこでも、だれでも 学ぶことができる環境を整える	基本目標3 「ふるさとみよし」 への愛着と誇りを高 める
中年期		
壮年期		
思春期	基本目標1 (こどもの育ち) 次代を担う子どもを地域ぐるみで育てる	
児童期		
幼年期		

幼年・児童期 (3～12歳)、思春期 (13～19歳)、壮年期 (20～44歳)、中年期 (45～64歳)、高齢期 (65歳～)

## 【施策体系 (施策の展開イメージ)】

基本目標	基本施策
1 次代を担う子どもを地域ぐるみ で育てる (こどもの育ち)	(1) 自ら学び知性ある子どもを育てる
	(2) 心豊かな子どもを育てる
	(3) たくましい子どもを育てる
	(4) 個に応じた支援を充実させる
	(5) 安心・安全・快適で信頼される学習環境をつくる
2 いつでも、どこでも、だれでも学 ぶことができる環境を整える (大人の育ち)	(1) 生涯学習を推進する
	(2) 生涯スポーツを推進する
	(3) 文化活動を活性化する
3 「ふるさとみよし」への愛着と誇 りを高める	(1) ふるさと学習を推進する
	(2) 人と人との出会いを生み出す
	(3) 連携・協働の推進